

# 2022年度上期業績概況

原材料費の高騰を主要因とした鋼材市況の高値安定、為替レートが大幅に円安となった事に加え、国内・海外スチールサービスセンター事業の堅調に推移し、大幅な増益となりました。

	2021年度上期	2022年度上期	差異
単体純利益 (日本会計基準)	51億円	70億円	+19億円
SCGMグループ 管理純利益※1 (非監査、国際会計基準)	130億円	<b>155億円</b>	+25億円

※1「SCGMグループ管理純利益」には、①当社及び②当社の関係会社に加えて、③当社の親会社である住友商事株式会社（以下、SC）の金属事業部門鋼材本部（以下、SC鋼材本部）傘下で当社が直接資本関係を有さないSCの関係会社（以下、SC鋼材本部傘下の関係会社）、及び④SC鋼材本部及びSCの海外地域組織の鋼材事業に関連する利益を含めております。  
「SCGMグループ管理純利益」に③及び④に関連する利益を含めているのは、当社はSC鋼材本部傘下の関係会社（③）の運営並びにSC鋼材本部及びSCの海外地域組織の鋼材事業（④）に関連する取引遂行に対しても、SCとの業務受託関係や共同での戦略立案・推進等を通じて現に関与・支援していることを理由とするものです。

## Topics

### 単体純利益

・22年度上期は鋼材市況の上昇に加え、円安効果により+19億円となった。

### SCGMグループ 管理純利益

・22年度上期は鋼材市況の上昇、為替レートの円安効果に加え、国内・海外のスチールサービスセンター事業が堅調に推移したことにより、21年度同期比+25億円の増益となった。